



令和5年度

# ふくしまを十七字

## で奏でよう

～届けたい 未来へつなぐ 十七字～



「<sup>おも</sup>ふくしまへの<sup>ねが</sup>想い、<sup>せいかつ</sup>願い」 「<sup>たいけん</sup>生活のなかで<sup>たいけん</sup>体験した<sup>こと</sup>こと」  
 「<sup>かぞく</sup>家族の<sup>ふれあい</sup>ふれあい」 「<sup>しんさい</sup>震災の<sup>きおく</sup>記憶」  
 について、<sup>ご</sup>五・<sup>しち</sup>七・<sup>ご</sup>五 <sup>きほん</sup>を基本に<sup>じゅうななじ</sup>十七字で<sup>ひょうげん</sup>表現してみませんか。



令和4年度 県北地区 県入賞作品

〈<sup>きすな</sup>絆 <sup>ぶ</sup>部 <sup>もん</sup>門〉

つくりたい <sup>きれいな</sup>きれいな<sup>ちまき</sup>ちまき <sup>かあ</sup>母さんと 小学校3年

<sup>こ</sup>子に<sup>つたえ</sup>伝え <sup>さんかく</sup>三角<sup>ちまき</sup>ちまき <sup>そぼ</sup>祖母の<sup>わざ</sup>技 母

〈<sup>ふるさと</sup>ふるさと<sup>ぶもん</sup>部門〉

<sup>つ</sup>釣り<sup>ざお</sup>竿の <sup>さき</sup>先に<sup>ひろ</sup>広がる<sup>あお</sup>青い<sup>うみ</sup>海 中学校1年

<sup>いくせん</sup>幾千の <sup>なみだ</sup>涙の<sup>さき</sup>先に <sup>こ</sup>子の<sup>えがお</sup>笑顔 母

じゅうななじ

十七字で

こ <sup>ゆた</sup>子どもたちの<sup>たいけん</sup>豊かな<sup>たいけん</sup>体験  
 かつどう <sup>だいじ</sup>活動を大事にします。

ひと <sup>ひと</sup>ひと <sup>きすな</sup>絆 <sup>ふか</sup>ふか  
 人と人との絆を深めます。



～ さんかしゃ かんそう  
参加者の感想 ～

そ ぼ おも てはなし かいわ ひろ たの じかん  
「祖母との思い出話など、会話が広がって楽しい時間でした。」

しょくたく だ あ まいかい たら  
「食卓で十七字を出し合って、毎回笑いの絶えない  
ひとときを過ごしています。」

しんさい し むすこ みちか  
「震災を知らない息子にとっては、ふくしまを身近  
に感じる事ができる良い機会となりました。」



## ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

【募集期間】 令和5年6月13日（火）～8月31日（木）

【応募用紙】 ○学校、市町村教育委員会、公民館、県北教育  
事務所などに配付されています。

○福島県教育庁社会教育課のホームページから  
ダウンロードできます。



社会教育課  
ホームページ

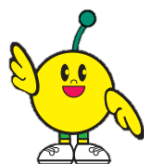
【応募先】 学校、市町村教育委員会、公民館、県北教育事務所

【応募規定】 ○絆部門・・・日常生活の体験を題材としたもの

○ふるさと部門・・・ふくしまへの想い、復興について

子と親、子と子、子と大人（祖父母などどなたでも）での  
ペアで五・七・五を基本に十七字で作品を作ります。

【表彰】 ◇最優秀賞（各部門5組） ◇優秀賞（各部門5組）  
◇佳作（各部門10組）



優秀な作品を表彰します。また、福島県教育庁社会教育課の  
ホームページ、Twitter 等に掲載し全国へ発信します。

【問い合わせ】 福島県教育庁県北教育事務所 総務社会教育課  
福島市杉妻町2番16号 024-521-2814